

水谷中学校区

<p>交流事業として、実施できたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校職員の小学校授業参観 ・小中連絡会の実施
<p>乗り入れ授業 (英語)</p>	<p>【成果と課題】 今年度は感染防止を鑑み実施を見送った。来年度に向け思案中。</p>
<p>カリキュラム編成に取り組んでいる教科・領域等 (保健体育、外国語、共通課題)</p>	<p>保健体育：学力・体力の向上策の共有と実践 外国語：小中一貫した英語指導の研究と実践 共通課題：「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の指導法の研究と実践</p>
<p>令和2年度の取組について</p>	<p>【成果と課題】 ○今年度は、会議や研修会、交流行事を実施することができなかったため、教員間の交流、児童生徒間の交流を実施することはできなかった。しかし、小中連絡会の持ち方、新入生の情報交換のやり方について確認をして、再度形作ることができた。また、ノースマホ・ノーゲームデーなど5校で継続した取組として実施できたこともあった。 ・今年度新たな取り組みや、小中一貫教育の実践について改めて検討することができなかったため、昨年度と継続した課題が考えられる。</p>
<p>令和3年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 目標・課題明確化と共有 →小中学校間において、この小中一貫教育を推進する意義と実践ポイントについて再度整備・共有して実践への意義付けを強める。 * 負担感の軽減 →取組内容が増えたという意識が教員内にあったため、これまでの教育活動を小中一貫の視点で整理していく。また、強化する実践をしぼるなど、負担感の軽減を図っていく。 * 一貫カリキュラム検討の推進 →上記でもふれた通り、新たな取組の実施に向かっていた部分が多いので、各教科等、9か年を一貫として進めていくカリキュラムの洗い直し、整備を進める必要がある。